

大学院特別講義のご案内

◆ 日時：2015年9月18日(金) 16:30～18:00

◆ 場所：歯学研究科 F棟5F 弓倉記念ホール

16:30～17:00

「咀嚼・嚥下の機能評価」

山本 雅章 助教

(大阪大学大学院歯学研究科 有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野)

口腔状態は、疾患や加齢によって変化する。結果として機能障害が生じ、患者のQOLに大きく影響を及ぼす。その機能障害をいかに評価し、歯科治療の中で反映できるかが良好な結果を得るために重要である。今回は咀嚼・嚥下の機能評価の中から、実際臨床応用されているものについて症例を交えて紹介する。

17:00～18:00

「嚥下運動誘発の調節機構」

井上 誠 教授

(新潟大学大学院医歯学総合研究科 摂食・嚥下リハビリテーション学分野)

嚥下運動は反射性にも随意性にも誘発可能であり、一旦開始された嚥下は脳幹のパターン発生器と呼ばれる神経集団が活性化することによって多くの筋活動が認められるという点において、生体内で最も複雑な神経機構をもつ運動のひとつと言われる。今回は、摂食嚥下機能に関わる基礎研究の中から、臨床応用への期待がもたれるいくつかの生理実験をピックアップして紹介する。

※本講義は「口の難病」セミナーを兼ねます。

問い合わせ先(「口の難病」プロジェクト・2704)